

+++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第56号 2019年7月9日発行
+++++

縄文畑の雑穀など良く生育しています。しかし、イノシシにジャガイモをすべて食べられ、今度は3匹のサルに植え直したジャガイモをほとんど食べられました。野生は命がけで食べに来、人間も生活を維持するために対抗せねばなりません。自然を愛しみ、山村の保全の立場にたちながら、その野生から食害を受ける哀しさ、その野生を殺害駆除せねばならない悲しさ、敵対、共存、共生は緊張関係で成り立っていることを思い知らされます。衰微した里山の自然、生態系の現場に順化してきた野生の現実はこの事実です（写真）。

植物腊葉標本その他、写真スライドなど、図書を整理しています。利用していただけるとうれしいです。会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。

なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人にぜひ広く転送伝達していただけるとうれしいです。

○報告

1. **食農教育懇談会の巡検は**、7月6日（土）、福田恵一さんが羽村一中の学校農園と根がらみ前田んぼ、中車水車小屋を案内してくださいました。小菅村に行くときに新奥多摩街道を通るのですが、その途中の羽村の堰周辺に。これほどの水田があるとは気が付きませんでした。とても美しい景観を維持しています（写真）。

2. **国連家族農業の10年**が5月29日から始まりました。日本でも、6月14日に衆議院第一議員会館国際会議室で、フォーラムが行われ、延べ80人ほどが参加しました。国会議員とその秘書も10名弱参加されたようです。

しかし、メディアの関心は低く、ニュースにも流れず、残念でした。趣旨には賛同しますが、まだか弱い活動のようです。

小規模・家族農業ネット・ワーク・ジャパン <https://www.sffnj.net/>

3. **Incredible Edible**（千葉大学園芸学部）のワークショップ（5月27日）に出ました。

イギリス発祥の都市農耕理解のための民族植物学的なプロジェクトのようです。20名ほどの参加でした。

Sofiaさんの紹介で参加しましたが、ほとんど日本人はいませんでした。千葉大ではEdible Wayというプロジェクトをしていて、松戸駅までの道の民家に、野菜の鉢植えを置いてもらっているようです。とても面白い活動です（写真）。

4. 伊豆半島を半周してきました。50年前に訪問した県立有用植物園は、南伊豆熱帯公園になっていました。

初めての野宿の旅で古里和夫園長を朝一番のバスで訪ねました。海は変わることなく美しかったのですが、立派なホテルや旅館が並び、半世紀の変化に大きさに驚きました。

5. 雑穀街道とFAO世界農業遺産

相模原市緑区では雑穀街道について、7月18日にご検討くださるとのことです、お返事待ちをしています。

6. 訃報 石橋隆明さん（元森とむらの会事務局長）、高木文雄会長の秘書役として、自然文化誌研究会の運営にご助力いただきました。中央アジア学術調査隊にも隊員として参加くださいました。元外務省、農水省官僚としてロシア語も堪能で、調査の際には当時のウズベキスタンの大臣、農業アカデミー副総裁、孫崎亨日本大使との会見にもご尽力くださいました。国内でも、中央省庁への陳情のほか、町村役場との交渉に、また、群馬県片品村、岩手県田野畑村、北海道平取町など、多くの農山村調査には暖かい後見役として、ご同行くださいました。深く感謝するとともに、心よりご冥福を願います。

○予定

1. 植物と人々の博物館開館・作業予定日：2019年7月13日ほかの予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。

ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしく願います。

ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。

細川邸は旅館として営業を始めるようです。森とむらの図書室（小菅と藤野）では順次資料の整理をし、リストはホームページで公開しますので、ご利用ください。

2. パーマカルチャーセンターからのご依頼で、7月13日にアドバンスド・コースで「地域と雑穀」についてお話しします。

3. 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。特に、家族農業（小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン）について学びたいです。このネットワークには個人で賛同し、ホームページに意見を掲載していただきました。

<https://www.sffnj.net/single-post/2019/05/01/voice-mikio-kimata>

4. 雑穀街道とFAO世界農業遺産

FAO世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。来年にはぜひ申請できるように、賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いいたします。

下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第3章関東地方・第4章関東山地で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpmilvil.html>

5. 民族植物学ノオトは次の第13号からは電子出版のみにする予定ですが、いつでもご寄稿を歓迎します。これまでのすべての記事pdfは植物と人々の博物館ホームページ（ミュージアムグッズ）で読めます。国会図書館にも全号所蔵されています。さらに国会図書館のオンライン資料にURLを登録します。バックナンバーは僅少ですが、希望者に差し上げます。メールマガジンもすべて記録してあります。

会誌ナマステは自然文化誌研究会のホームページで読めます。

6. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえ、自由に書いています。近日中に「第10章バングラデシュとスリランカ」を公開します。

『日本雑穀のむら』は第5章中部地方の雑穀文化複合、補論3副食主菜の起源を検討しています。

『第四紀植物』および“Essentials of Ethnobotany”はまだ非公開ですが、書き進めています。これらは、

下記の雑穀・民族植物学関係個人ホームページで読めます。

『環境学習原論—人世の核心』（2019）は是非一読いただきたいです。いずれ国会図書館のデジタルに登録します。

引用してくださる場合は、順次必要に応じて改訂していきませんが、とりあえず「木俣（2019）」としてくださるようお願いいたします。

○お知らせ（紹介）

1. 雑穀研究会第33回シンポジウム

テーマ：市場ニーズに応える雑穀と地域振興

開催場所：岩手県花巻市太田42-239、プロ農夢花巻8月26日～27日

申し込み方法：電話・FAX：[0466-84-3468](tel:0466-84-3468)、申し込み期限：8月2日

メール：kurauchi.nobuyuki@nihon-u.ac.jp 熱帯資源作物研究室 倉内伸幸に申し込んで下さい。車の有無も記載をお願いします。

2. 秋山郷常民塾2019夏については添付のpdfに案内チラシがあります。

3. NPO環境文明21の憲法部会では日本国憲法に追加してほしい第3章環境原則の文案の再検討と今後の学習会（原子力発電について、国会議員会館内で、9月下旬予定）について話し合います。

次回は、7月26日大崎の予定です。ご関心があれば、ご連絡ください。

~~~~~  
自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行： 木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

雑穀・民族植物学関係の個人 HP: 生き物の文明への黙示録

<http://www.milletimplic.net/>

~~~~~

写真はパワーポイント pdf で添付します。

木俣美樹男 Mikio KIMATA kibi20kijin@yahoo.co.jp

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP: <http://www.ppmusee.org>

個人 HP: <http://www.milletimplic.net>